

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」キックオフセミナー『ダイバーシティ（多様性の尊重）と大学の未来』を開催しました。

平成27年11月9日（月）、長崎大学文教スカイホールにて、平成27年度文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」キックオフセミナー『ダイバーシティ（多様性の尊重）と大学の未来』を開催いたしました。

当日は雨模様のあいにくの天気でしたが、学内外から140名を超える参加者があり、皆様の本テーマに対する関心の高さがうかがえました。

1. 開会挨拶（学長 片峰 茂）

最初に、片峰 茂学長より開会の挨拶がありました。挨拶の中で片峰学長は、「変化が著しい現代において、「ダイバーシティ」は持続可能な社会構築の突破口となるキーワードである。大学も、留学生や障がい者をはじめとした多様な人材の活用や、仕事と介護の両立支援など新たな取り組みなどにより活性化を図る必要がある。このセミナーは、私たちの意識や行動様式を抜本的に変える大きな節目となる」と述べました。

2. 来賓挨拶（文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室長 唐沢 裕之様）

次に、文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室長 唐沢 裕之様より、ご挨拶ならびに科学技術・学術分野における女性活躍促進に係る最近の動向や、文部科学省が推進する女性活躍および次世代育成に向けた施策や取り組みなどのご紹介を賜りました。

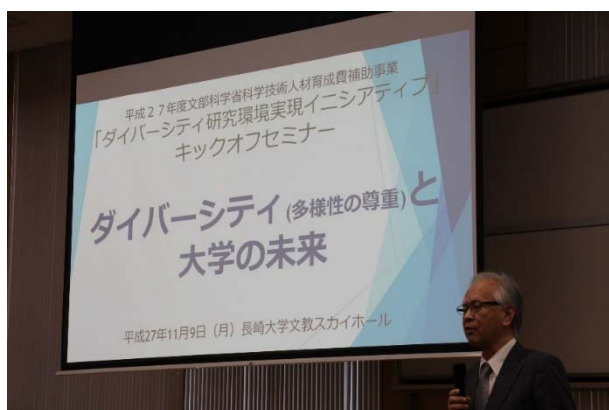


写真 1. 片峰学長



写真 2. 唐沢人材政策推進室長

3. 事業概要（副学長／ダイバーシティ推進センター長 伊東 昌子）

続いて、伊東 昌子副学長／ダイバーシティ推進センター長より、本事業の概要説明がありました。伊東センター長は、本学事業の4本の柱である「女性リーダー育成プログラム」「働き方見直しプログラム」「ライフイベントサポートプログラム」そして「地域連携による介護者支援システム」を通じ、女性研究者の雇用や上位職登用の増加ならびに研究力の向上、仕事と育児・介護の両立支援、地

域支援といった目標を目指すこと、また、これらによりすべての人が働きやすい環境づくりを推進していくと述べました。



写真 3. 伊東副学長／センター長



写真 4. 石松教授

4. 特別講演Ⅰ（工学研究科 教授 石松 隆和）

特別講演Ⅰでは、石松隆和工学研究科教授より、「長崎の難病患者を支援して」と題し、大学と地域が連携して取り組んでいる難病患者・障がい者への支援活動についてお話いただきました。斜面住宅地に暮らし不自由な生活を強いられている住民の声を聞き、保健医療や福祉、機械、土木、行政などの専門家が集まり「長崎斜面研究会」が発足され、さらに高齢者生活支援研究会（高齢研）と連携し、支援に関する様々なモノづくりや教育を展開しているというお話でした。また、高齢研会長の瀬川 繁様や車いすユーザーの三浦 廣高様も講演に加わっていただきました。

5. 特別講演Ⅱ（日本アイ・ビー・エム株式会社 副会長 橋本 孝之様）

特別講演Ⅱは、日本アイ・ビー・エム株式会社 副会長 橋本 孝之様によるご講演、「IBMの経営とダイバーシティ」でした。世界175か国以上で事業を展開しているグローバル企業ならではの女性の積極登用事例や、人材を効果的・効率的に活用するための柔軟かつ多様な働き方の提供などこれまでの取り組みについてのお話から、IT化が加速している中、仕事が変わり働き方が変わる時代、個人の能力や行動の強化がより求められる時代が到来しているといった、思わずハツとなるようなお話まで、多岐にわたり興味深い内容をお聞かせいただきました。



写真 5. 橋本副会長

6. 閉会挨拶（理事／副学長 松坂 誠應）

最後に、松坂 誠應理事／副学長より、それぞれの講演への感謝の辞と共に、閉会の挨拶がありました。



写真 6. 松坂理事／副学長

月曜日の午後という忙しい時間帯での開催でしたが、多くの皆様にご参集いただきました。センター一同心より御礼申し上げます。アンケートでは、「今後仕事を進めていく上でとても参考になった」「ダイバーシティの考え方が理解できた」など、気づきや学びについてのコメントが多くありました。アンケートへご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

今後も長崎大学ダイバーシティ推進センターは、すべての人の価値観や生き方、多様性を尊重する大学を目指し、一層努力してまいります。今後とも、皆様のご理解、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

(了)